

～お魚はヘルシーフードの金メダル～  
川之江漁協魚まつり 10/25(日)



川之江漁業協同組合魚市場で魚まつりが開催されました。これは、川之江漁業協同組合（三好 猛組合長）が、漁業者と消費者の相互交流を図り、魚への親しみを深めるとともに、食育活動や魚食普及を推進することを目的に行っているものです。会場は、新鮮な魚や水産加工品などを買い求める多くの来場客でにぎわいました。



～子育てを楽しむために～  
子育てフェスタ 2015 10/25(日)



伊予三島運動公園体育館で、四国中央子育てフェスタ 2015 ～つなぐ（手をつなぐ・心をつなぐ・世代をつなぐ）～が開催されました。今年で開催6回目を迎える子育てフェスタには、今年も市内外から多くの親子連れが訪れ、来場者は子どもと一緒に楽しいひとときを過ごしていました。

2015 全日本理美容選手権  
全国大会出場報告 10/22(木)



禅コーポレーション（合田浩之オーナー）美容室オルト勤務の森 亮大さんが、全日本理美容選手権四国大会において、ブローアセッション部門（メンズショートカット人形モデル）で優勝し、横浜アリーナで開催される全国大会に出場することを報告するため、市長を表敬訪問しました。

～山里の採れたて野菜を満喫～  
新宮・秋の大収穫祭 10/25(日)



新宮町霧の森で「新宮・秋の大収穫祭」が行われました。当日は、地元の産直市グループによる採れたて野菜の販売や新宮茶の販売のほか、恒例の栗のつかみ取り大会、新宮産野菜や新宮茶葉の重量当てクイズなど楽しいイベントが開催され、多くの家族連れでにぎわいました。

～トリック・オア・トリート～  
ハロウィンパーティー 10/24(土)



福祉会館で市国際交流協会（SIFA）によるハロウィンパーティーが開催されました。会場では、ゴーストフィッシングやかぼちゃ割りなど、さまざまなゲームやマジックショー、仮装コンテストなどが行われ、仮装した多くの参加者は、ゲームに挑戦したり、記念写真を撮ったりしてハロウィンを満喫していました。

**第15回全国障害者スポーツ大会  
「紀の国わかやま大会」で準優勝** 11/10(火)



一柳初太郎さんが10月24日～26日に開催された第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」のフライングディスク(アキュラシー・ディスリート・ファイブ部門)で、準優勝したことを報告するため市長を表敬訪問しました。市長は「更なる充実を目指して頑張ってください」と激励の言葉を述べました。

**～勇気を出して声を掛けてみましょう～  
認知症高齢者探そや体験** 11/6(金)



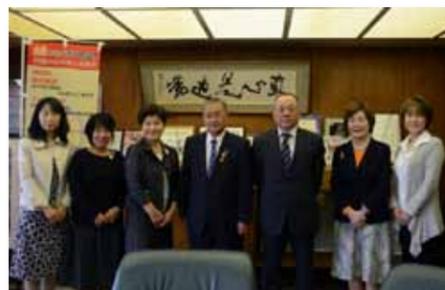
土居町小富士地区で認知症高齢者探そや体験(徘徊模擬訓練)が行われました。これは、地域全体で高齢者を見守り、支援していくまちづくりを目指して行われたもので、参加した小富士地区の住民66人は、認知症の特徴や接し方、気になる高齢者を見つけた時の対応のポイントなどについて、体験を通して学びました。

**～虐待から子どもを守るために～  
児童虐待防止啓発活動** 11/4(水)



タイム伊予三島店前で児童虐待防止啓発活動が行われました。要保護児童地域対策協議会の会員と子育て応援キャラクターのほっこりんは、来店客に「児童虐待かもと思ったら、すぐに“189(いちはやく)”に電話してください」と呼び掛けながら啓発用品を手渡していました。

**～提言書を提出～  
男女共同参画計画委員会** 10/28(水)



男女共同参画計画委員会が作成した「第2次四国中央市男女共同参画計画に関する提言書」を、亀岡マリ子委員長(元愛媛県男女共同参画センター館長)が市長に提出しました。提言書は、基本理念のもと、4つの基本目標と10項目の重点目標を定め、男女共同参画社会の実現を推進していくことをまとめたものです。

**～愛媛マダリンパイレーツ～  
祝！独立リーグ日本一** 11/11(水)



ホテルグランフォーレで愛媛マダリンパイレーツ四国中央後援会選手交流会 in2015が開催されました。愛媛マダリンパイレーツは、今季、野球の独立リーグ・四国アイランドリーグplusで初の年間総合優勝を果たし、日本独立リーグチャンピオンシップも勝ち抜いて日本一に輝きました。

**～いろいろなゲームを楽しむ～  
児童館まつり** 11/8(日)



川之江児童館で児童館まつりが開催されました。遊戯室ではバザー、芝生広場ではフリスビーを使ったストライクアウトや輪投げなどの各種ゲーム、毛糸を使ったインディアンバッチ作りなどが行われ、参加したおよそ500人の親子連れは、ゲームや買物などをして楽しんでいました。

**～高齢者の交通事故を防ぐために～  
高齢者交通安全教室** 11/6(金)



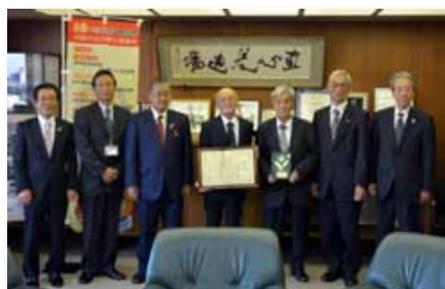
宇摩自動車教習所で高齢者交通安全教室が開催されました。教室には18人が参加し、服の色の違いによる夜間の視認性実験や歩行環境シミュレータを使っての道路横断の疑似体験などがあり、参加者は教習所職員や警察官から安全な運転や道路の横断についてアドバイスを受けるなど、交通安全への意識を一層高めていました。

**～実りの秋を満喫～  
てらの湖畔広場・秋の感謝祭** 11/1(日)



富郷町のてらの湖畔広場で、秋の感謝祭が行われました。会場では、嶺南地域の団体によるバザーや田舎料理、地元野菜などの販売があり、同日開催された別子・翠波はな街道サイクリング2015の参加者も訪れ、会場は大いににぎわいました。

**全国育樹活動コンクール  
林野庁長官賞受賞** 11/16(月)



富郷町の曾我部俊朗さんが、全国育樹活動コンクールの個人の部で林野庁長官賞を受賞したことを報告するため、市長を表敬訪問しました。曾我部さんは林業架線技士として40年以上にわたり活動し、県内林業の発展に対する功績が認められ、第39回全国育樹祭で表彰されました。

**～みんなで冬を彩ろう～  
イルミネーション取り付け作業** 11/8(日)



三島川之江インターチェンジ付近で、今年で7回目となる、ボランティアらによるイルミネーション取り付け作業が行われました。作業には市内の高校生らを含むおよそ100人のボランティアが集まり、簡単な説明を受けたあとと少人数の班に分かれて作業しました。

**～楽しく遊んで よりよく伸ばす～  
あったか子育てセミナー** 11/6(金)



福祉会館であったか子育てセミナーが開催され、県立子ども療育センターの田内広子さんによる講演が行われました。講演では、子どもの発達についての話のほか、新聞紙を使ってできる遊びのアイデアを発表するなど、参加した約150人は、楽しく遊びながら子どもの発達促進について学んでいました。

**～いろいろなスポーツを体験～  
スポーツアドベンチャー** 11/3(火)



伊予三島運動公園で、市民にいろいろなスポーツを体験してもらおうと、スポーツアドベンチャーが開催されました。参加した子どもから大人までの約700人は、ラグビーやフェンシング、スポーツクライミング、体力測定など18種類の運動を体験し、友達や家族とともに気持ちの良い汗をかきながら楽しみました。

～大会での活躍に期待～  
**第9回 JKJO 全日本ジュニア空手道選手権大会出場報告**

10/19・27、11/9



愛姫會(妻鳥真実代表)の妻鳥彩水さん(三島西中学校3年)と敬心館(武村敬介館長)の妻鳥ゆららさん(中之庄小学校3年)、妻鳥碧結さん(土居小学校4年)、流心館(吉田健一代表)の今井琴梨さん(三島東中学校1年)が、11月14日土曜日、東京都の国立代々木競技場第一体育館で開催される第9回 JKJO 全日本ジュニア空手道選手権大会へ出場することを報告するため市役所を訪れました。

～秋を探しにロングライド～  
**別子・翠波はな街道サイクリング2015**

11/1(日)



別子・翠波はな街道サイクリング2015が開催されました。これは、昨年市発足10周年記念事業として開催されたイベントを継続して開催したもので、道の駅「霧の森」を出発し、新居浜市筏津までを往復するロングコース(90キロメートル)、法皇湖を一周するファミリーコース(7キロメートル)に、合わせて358人の申し込みがありました。

参加者は山間地域の自然に囲まれながらそれぞれのペースでサイクリングを楽しみ、344人が完走を果たしました。

～地元特産品やおいしいものがいっぱい！～  
**産業祭&グリーンフェスタ**

11/14・15



伊予三島運動公園体育館とJAうまジャジャうま広場で第11回産業祭と第18回JAうまグリーンフェスタが開催されました。会場では、農作物や赤石五葉松の展示、各種バザー、小学生以下を対象にしたあさりのつかみどりなどのほか、直径2メートルの大鍋で調理したいもたきの試食会や恒例のもち投げがあり、買い物や食事を楽しむ多くの家族連れでにぎわいました。また、体育館サブアリーナでは全国さといも産地交流会が開催され、各産地の取り組みや課題などについて情報交換を行いました。

「予算編成」

市長の  
ひとひごと



四国中央市長  
 篠原 実

今年は、例年より残暑が少なく、衣替えも秋服というより、冬の装いに一気に変わったように思う。  
 秋の太鼓台も、汗だくというほどでもなく、さわやかな秋晴れのもとでの運行となった。  
 もう十二月である。  
 役所的には、次年度の当初予算の編成と、次年度に向けての人事構成が本格化する。市長としては、正念場の季節かもしれない。しかし、評価的にみれば、どちらも100点というわけにはいかないだろう。何に焦点を絞って頑張るかが肝要であると私は思っている。  
 篠原にとっては、一期目の仕上げでもある。何点かの焦点のうち、優先順位をどうするかが問われる。  
 自分は心を空っぽにして、情熱と理念を秤(はかり)にかけて、決断しようと思っ  
 ている。  
 いずれにしても、自分の持っている能力以上のことを望んでも仕方がなく、能(あた)う限りの力を振り絞ることができればいいと観念している。